

丹波篠山市で農薬や化学肥料を使用せずに栽培したとうがらしを使って一味唐辛子を製造販売



CamatoQuwaの山田誠二さんと山田博子さん
時機を逃さず素早く行動する二人の座右の銘は、
『鉄は熱いうちに打て』

◆ 6次産業化を行うには、中途半端にならないよう、営農と加工に費やす時間のバランスを取ることが大事。

また、商品化した後の販路が重要なので、適宜営業活動を行い、売り先を確保していく必要があると考える。

今後の展望

◆ 地球環境のことを考え、農薬や化学肥料を使用しない農業をこれからも続けていきたい。

◆ 将来的には、規模を拡大し、新規就農者のサポートも行っていきたい。

CamatoQuwa (カマトクワ)

◆所在地

兵庫県丹波篠山市

◆お話を伺った方

山田 誠二

山田 博子

◆取組内容

・とうがらし、ハーブ、にんにく、

黒枝豆等の栽培

・一味唐辛子、乾燥パセリ等の製造販売

・観光農園（黒枝豆、さつまいも）



きっかけ

◆ 獣害に遭いにくいことから、とうがらし栽培を開始。

◆ 一味唐辛子等に加工すれば、年間を通じて販売できると考えたため、製造を始めた。

取組内容

◆ 一味唐辛子（3種）、ざくざく唐辛子、乾燥パセリ等を製造し、JA直売所、ナチュラルフードスーパー、百貨店等で販売。

◆ 付加価値を高めるため、農薬や化学肥料を使用せずに農産物を栽培。一味唐辛子の原材料として使用しているゆず皮についても、有機JASのものを使用するなど、他商品との差別化を図っている。

“毎日の食事が楽しくなるスパイス”です！



(左から) ゆず一味、一味唐辛子、にんにく一味



乾燥パセリ

2024年11月29日調査

(画像提供：CamatoQuwa)